後期の学生生活に関するお願い

前期とは異なる心構えで

感染力が格段に強い変異ウイルスが流行し、前期と同じように行動していては感染が防げないかもしれません。また、若い人の重症化や軽症者の後遺症が問題になっています。後期から気持ちを新たにし、以下の点には特に注意しましょう。

不織布マスク ウレタンではなく不織布マスクを推奨します。あなたが感染しないために、また、友人に感染させないために常時着用で。ワクチン接種済みの人もマスクが必須です。

教室で静かに 休み時間の大きな声での会話は控えましょう。また、間近でにぎやかに会話をすれば、マスク着用時でも感染が起こりえます。話す時は互いに距離をとるように。

黙食で友人を守る 黙食は周りの人に感染させないための配慮です。学食では黙食を厳守し、食事が済んだら速やかに退出を。教室での弁当も黙食で。

お酒なしでもNG 下校時の友人との飲食やカラオケは非常に危険です。専大生の感染原因で多いのが会食です。お酒なしでも、おしゃべりしながらの食事はNGです。

感染したら 感染者または濃厚接触者になったら、速やかに大学保健室に連絡を。自分の学修を維持するために、そして友人への感染拡大を防ぐために。

神田キャンパス保健室 TEL 03-3265-6219　生田キャンパス保健室 TEL 044-911-0503
保健室不在時は守衛室（神田 TEL 03-3265-5973　生田 TEL 044-911-0504）

感染について理解を深めるための動画や資料

新型コロナウイルス感染症対策「変異株への対応」篇（30秒）
https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg22789.html

新型コロナウイルス感染症から日常を取り戻すために:コロナの後遺症（190秒）
https://www.youtube.com/watch?v=9zsyGR MKCI

マスクの効果について（180秒）
https://www.youtube.com/watch?v=jgsDZboag9s

マスク素材の違いによる性能の差（坪倉誠教授（理化学研究所/神戸大学）作成資料に加筆）
下の表をみるとわかるように、例えばウレタンマスクでは漂う飛沫の82%を吸い込んでしまうのに対し、不織布マスクだと25%まで減少させることができます。吐き出すほうも同様の差があります。

市販マスクの性能（実測値）

	なし	ウレタン 22種類	布マスク 64種類		不織布マスク 67種類		ダブルマスク 17種類	ナノフィルター8種類	N95マスク 10種類
			フィルターなし	フィルター入り	ルーズ	フィット			
	100 %	48 %	28 %	24%	24%	18%	14%	6%	1%
	100 %	82 %	70 %	48 %	45%	25%	16%	16%	2%

（実際に人が市販マスクを着用して米国労働安全衛生局が定めたフィットテストプロトコルに基づいた試験を行い求めた数値：粒子径0.015μm以上）